



Refugee Empowerment International

戦略計画 2026 - 2031

次なるステージへ：
「地域の種から、世界に届く」
インパクトを

母子健康促進プログラム

目次

使命とビジョン	2
序文	3
財務目標	4
コミュニティ・リーダーシップ	5
テクノロジー	6
イノベーション	7
オペレーション	8
戦略的パートナーシップ	9



依存症予防・治療プログラム



カレンニ社会開発センター



避難民能力開発プログラム ナイロビ、ケニア

REIの使命

世界中の忘れられた避難民コミュニティにおいて、草の根プロジェクトへの投資を通じ、避難民の方々が自らの手で未来を築き、長期的な復興を遂げられるよう『自立への手助け』を提供します。

REIのビジョン

REIは、避難民の方々や避難を余儀なくされたコミュニティが、自立を通じて尊厳を取り戻し、自らの人生と未来を再建できる世界の実現を目指します。

REIは、避難民自身が持つ強みや知識を活かした草の根プロジェクトを支援しています。このアプローチこそが、持続可能な成果につながると確信しているからです。

また、REIは、ファンドレイザー、寄付者、そして運営に携わるすべての人々が、価値ある一員として繋がり、共通の目的を持って協力し合える「信頼と支え合いのエコシステム」を築きます。

REIは、避難民となった人々の回復力（レジリエンス）と成果を世に示し、希望を届ける「グッドニュースを届ける発信源」でありたいと願っています。そして最終的には、将来の困難にも立ち向かえる安定したコミュニティを育み、この歩みに関わるすべてのステークホルダーと共に成長し続けることを目指します。

序文

今後5年間、REIは「避難民自身が主導する開発（refugee-led development）」におけるグローバルリーダーとしての地位を確立していきます。

私たちの戦略の根幹にあるのは、シンプルかつ力強い信念です。それは、「避難民は単なる支援の受け手ではなく、自らのコミュニティにおけるリーダーであり、革新者であり、変革の担い手である」ということです。REIの「自立への手助け（hand-up）」というアプローチは、避難民が自ら解決策を導き出す力を引き出します。それは尊厳を取り戻し、希望を育み、永続的な自立を築くことに繋がります。

このモデルに対する揺るぎないコミットメントこそが、REIのアイデンティティであり、活動の原点です。20年以上にわたり避難民コミュニティを訪問し続けてきた中で、私はこのアプローチの価値を確信してきました。

REIが投資するのは、見過ごされがちな、避難民主導の小さな取り組みです。それらは大規模な支援機関にとってはあまりに局所的かもしれませんが、決して無視できないほど大きなインパクトを秘めています。こうした草の根プロジェクトが意味のある変化を生み出せるのは、それが当事者としての経験、信頼、そしてコミュニティの主体性に基づいているからです。

今後5年間、私たちはこのモデルをさらに強化し、拡大させていきます。避難民主導の取り組みによるインパクトを増幅させ、彼ら自身による解決策が、いかにコミュニティを変革し、私たち全員にとってのより強い未来を築けるかを証明してまいります。



ジェイン・ベスト
エグゼクティブ・ディレクター

歩みを振り返り、次なる展望へ

この度、新たな5カ年戦略計画を策定いたしました。これは、私たちがこれまでに遂行してきた歩みを振り返り、次なる目標を見据えるための大切な機会となります。

2020年から2025年までの前中期計画において、REIに携わるすべての皆様がチーム一丸となり、掲げた目標を見事に達成できたことを大変嬉しく思っております。この期間、新型コロナウイルスの世界的なパンデミックをはじめとする極めて困難な状況に直面しました。しかし、REIはそれらの逆境を乗り越え、資金調達およびプロジェクト支援の両面で、目標を上回る成果を収めることができました。チームの規模は拡大し、サポーターの皆様との新たな繋がり方も確立され、活動の勢いを止めることなく継続することができました。

次の5カ年に向かうにあたり、これまでの成果を維持し、難民自身が主導する取り組み（REFUGEE-LED INITIATIVES）をより一層力強く支援していくためには、私たち一人ひとりが引き続き高い志と熱意を持って関わり続けていくことが不可欠です。この道を歩み続けることで、私たちは支援先のプロジェクトを見出し、助言し、励まし、意味ある支援を届ける「ポジティブな原動力」であり続けることができると確信しています。

REIの歩む道のりに加わってくださっている皆様に、心より感謝申し上げます。私たちは、この活動に携わっていることに、一人ひとりが誇りを持って進んでまいりましょう。



サイモン・コリンズ
取締役会会長



今後5年間に於いて、現在支援中の5つのプロジェクトへの資金調達目標を確実に達成することに注力します。同時に、社会情勢の変化にも柔軟に対応できる組織体制を維持します。

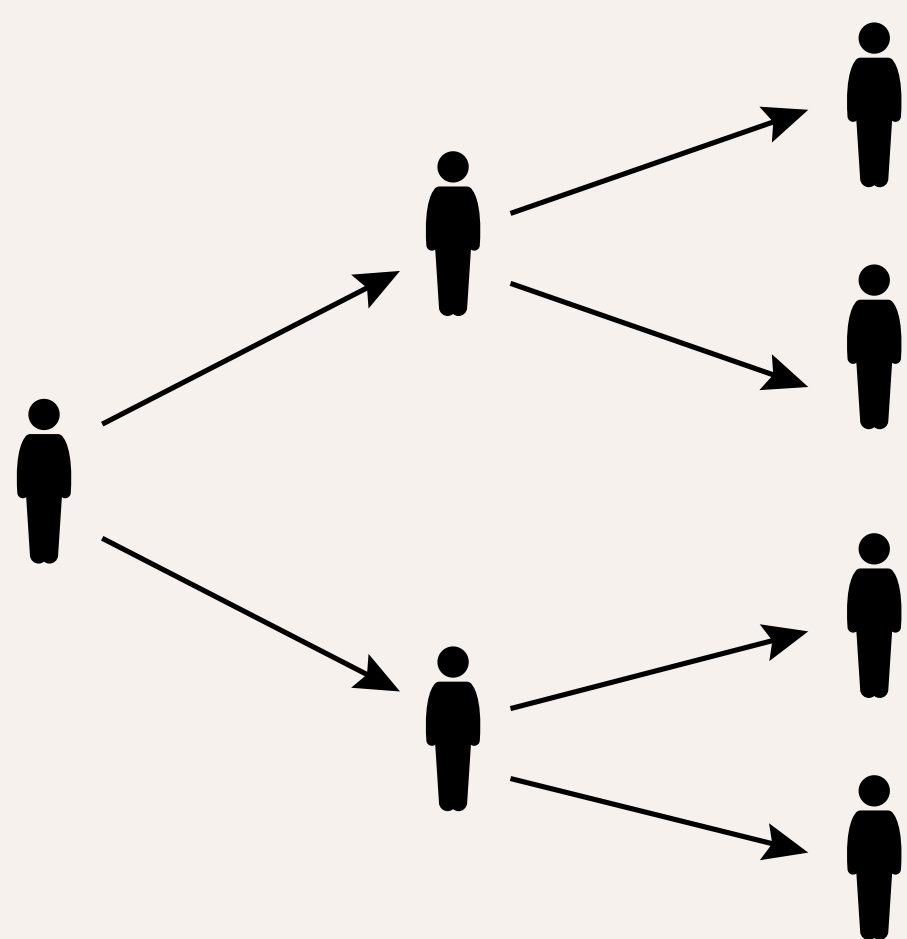
財務目標

人間の可能性への投資、私たちの未来のために



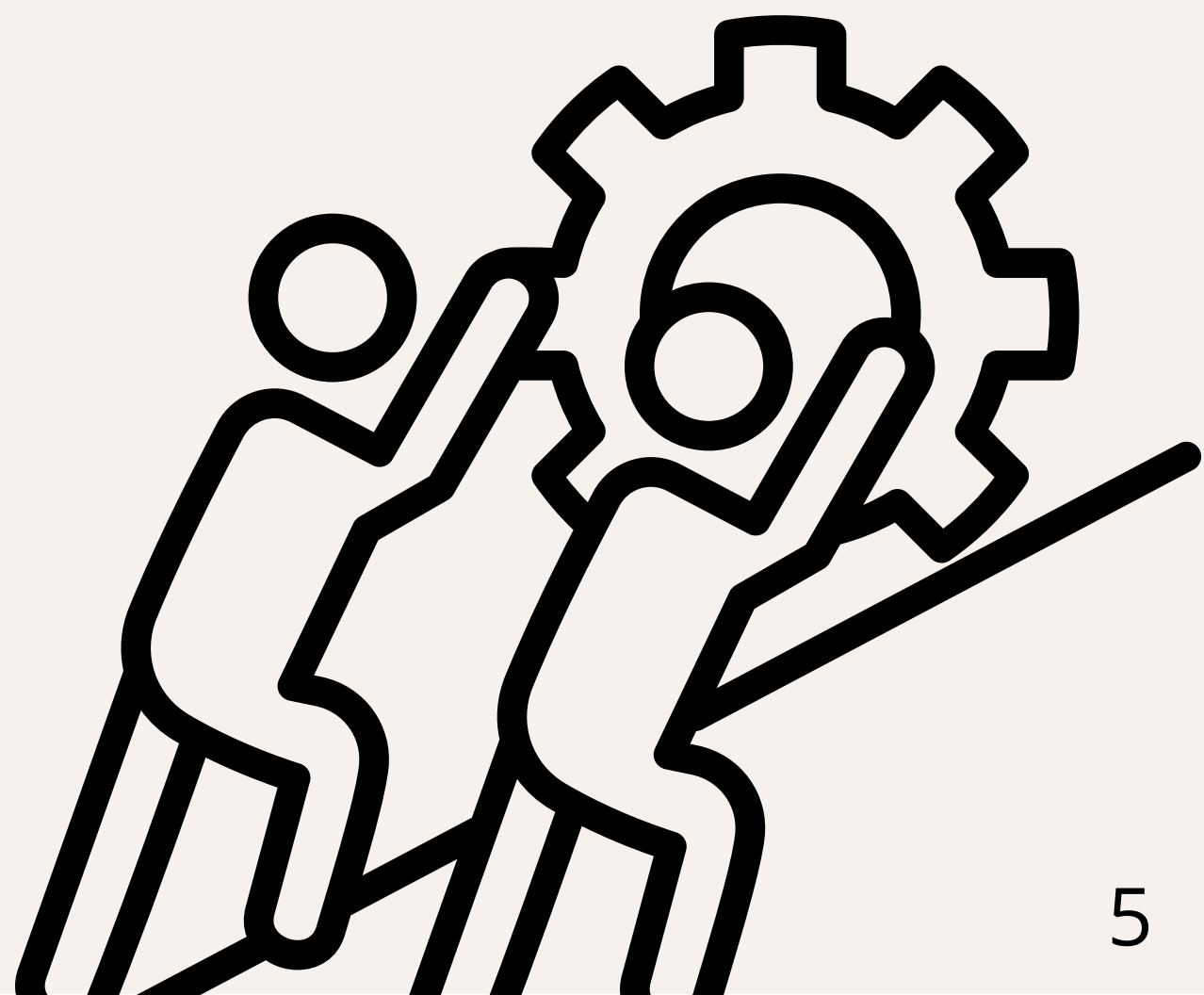
2031年末までに年間収入3,000万円を実現します。この収益増により、収益対プロジェクト資金比率を85%まで向上させます。

現地での直接対話を軸に、避難民主導の新たな取り組みを発掘・伴走支援する活動を拡充し、現地に根ざした影響力を高めてまいります。



増額資金を活用し、既存・新規プロジェクトの連携によるエンパワメントの最大化を図ります。コミュニティ全体での成功を拡大させます。

この戦略は、地域に根ざしたスキル、リーダーシップ、そしてイノベーションの力を信じ、より強靱で回復力のあるコミュニティを共に築き上げるという、REIの信念を体現するものです。



コミュニティリーダーシップ

REIは、支援者、寄付者、アンバサダー、そして資金調達を担う方々と共に、より強固で活力あるネットワークを築き上げ、コミュニティエンゲージメントの先駆者としての役割を深めます。お一人おひとりと真摯に向き合い、関わりの形を明確に提示することで、私たちの使命に対する揺るぎない共感と、長期的な絆を育んでまいります。

主要な取り組み：

戦略的なアウトリーチ（広報活動）とキャンペーンを展開し、支援者コミュニティの基盤を拡大し、新たな層の関心を惹きつけます。

アンバサダーやファンドレイザーを対象とした体系的なプログラムを構築します。必要な資材の提供や活動の評価、リーダーシップを発揮できる機会を設けることで、各パートナーの主体的な活動を後押しします。

（REIのインターン・ボランティア）経験者（Alumni）ネットワークとの連携を通じて、活動の社会的インパクトを広げ、次世代のリーダーをエンパワーメントします。

デジタルと対面の双方で交流チャンネルを整備し、支援者コミュニティにおける一貫した情報発信とコラボレーションを促進し、活動の透明性を高め、一体感を持って関わりを保つ環境を整えます。

私たちは、誰もが主体的に関わり、互いに支え合える持続可能なコミュニティを築いていきます。この強いつながりこそが、私たちのミッションを前進させ、世界に広がる大きな変化を生み出す原動力となります。

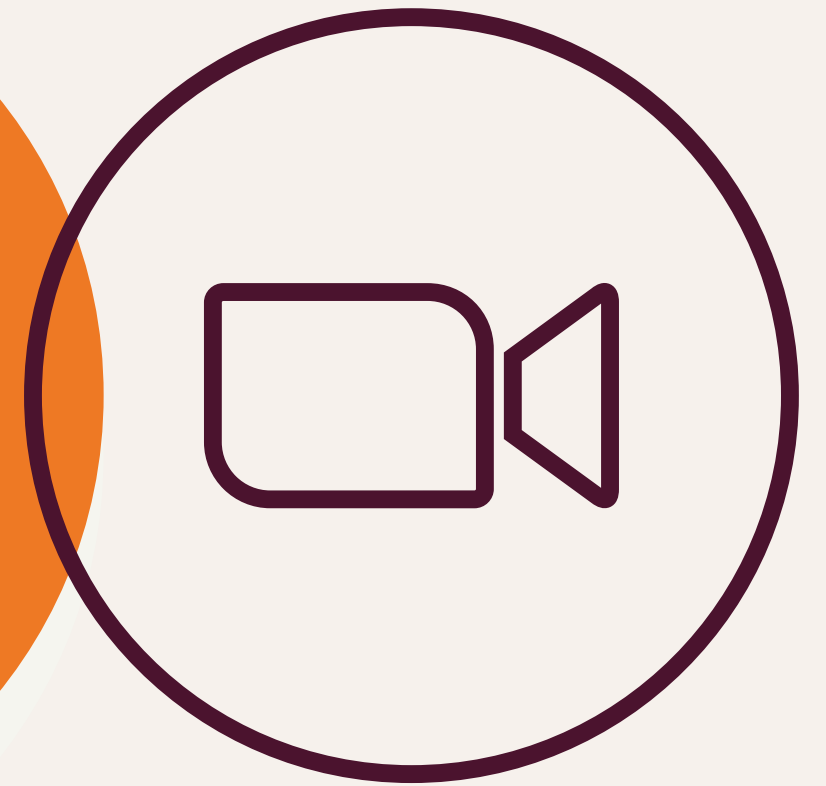


カレンニ社会開発センター（KSDC）

テクノロジー

革新的なテクノロジーを導入し、外部とのつながりと内部業務を高度化することで、変化に対して迅速かつ的確に対応します。技術を戦略的な武器として活用し、支援の輪を広げるとともに、業務の効率化と多様なステークホルダーとの強固な連携を実現します。

躍動感あるコンテンツを、ウェブサイトや各種SNSへ全面的に導入します。デジタルプレゼンスを高めることで、視聴者の関心をより効果的に惹きつけ、深い共感へと繋げます。



最新のテクノロジーを積極的に取り入れ、活動の認知度を高めます。特に次世代を担う若年層への訴求力を強化し、REIのブランドとメッセージをダイレクトに届けます。

最新技術の導入を通じて業務フローをスリム化し、REI内部のデジタル化を推進します。リソースの最適配分を行いながら、変化に強いデジタル対応能力を組織に定着させます。



目まぐるしく進化する技術環境において、これらの取り組みを軸に、組織運営の効率化とステークホルダーとの絆の深化を、共に加速させてまいります。

イノベーション



避難民支援の未来を切り拓く、フロンランナーとしての地位確立

主要な取り組み：

自立支援活動を自ら運営できるよう、ボランティアの育成支援を行います。

私たちの成長戦略の核となるのは『イノベーション』です。先見性のあるアイデアと着実な実践を組み合わせることで、長期的なインパクトを生み出し、レジリエンスを構築します。

寄付者一人ひとりの支援の成果を血の通ったストーリーとして共有し、寄付を通じて社会を変える喜びを分かち合い、さらなる参画を促します。

絶え間ない革新（イノベーション）の精神を育むことで、新たな成長の道を切り拓き、持続的な価値を提供し続ける力を強化します。

当団体のミッションと価値観に合致する新たな収益基盤を積極的に開拓します。

新たな成長機会を捉え、資金調達戦略の最適化を図ります。

革新的な取り組みの成果を客観的に測定・評価し、さらなる改善へと繋げるサイクルを確立します。



レバノンの幼稚園

運用

私たちは、長期的な持続可能性と運営の効率化、そして次世代へ続くリーダーシップの継承を目指し、組織基盤を強化します。戦略的成長を支える柱として、変化に強く卓越した専門性を備えたチームを構築します。

主要施策

次世代リーダーの育成体制を確立し、主要ポストの計画的な継承を通じて、組織の安定性と継続性を守ります。

ボランティアチームの拡充に向け、新たにレベニューシェア（収益分配）モデルを導入します。

組織のあらゆる階層において、豊かな経験と斬新な視点が調和する『多世代型ワークフォース』を構築し、持続可能な運営基盤を強化します。

常時5名以上の理事体制を維持し、戦略的監督とリスク管理を徹底することで、健全なガバナンスを担保します。

理事会会員は5年以内に後継候補者を指名します。

運営専用の資金を確保することで管理費比率を最適化し、寄付金がもたらす支援効果を最大化します。

これらの施策により、強靱な業務基盤と次世代リーダーを育成し、変化に強く効率的な組織へと進化させます。

戦略的 パートナーシップ



カレンニ難民青少年社会開発センター、2025年

戦略的パートナーシップのネットワークを多層的に拡大・強化し、相互の成長と共有価値の創出を加速させます。財団、企業、そして個人との絆を深め、持続的な信頼関係を育むことで、長期的なビジョンを実現するための強固かつ多様な支援基盤を確立します。

主な取り組み：

理念を共有する財団、企業、個人篤志家、および次世代リーダーとの長期的な提携を推進し、持続可能な資金調達ルートと継続的な協働の機会を確保します。

インターン・ボランティア経験者（Alumni）ネットワークやLinkedInを戦略的に活用し、専門的・個人的なつながりを軸にエンゲージメントを高めます。

体系的なパートナーシップ・枠組みを構築することで、一貫性のある関係管理と、透明性の高い価値交換を保証いたします。

パートナー企業とREIの双方にメリットのある協業を展開し、可視化できるインパクトを実現します。

これらの取り組みを通じて、信頼される戦略的パートナーとしての地位を確立し、多様なステークホルダーとの協働を深化させることで、REIの社会的影響力を拡大し、ミッションを完遂するための組織能力を高めてまいります。



カレンニ社会開発センター

Refugee Empowerment International（国際難民支援団体）は、紛争によって避難した人々の『自立』と『未来の再建』を支援する独立非営利組織です。故郷に近い場所での生活再建を支え、地域経済への貢献を可能にするプロジェクトを通じて、彼らが再び自らの足で立ち、希望ある明日を築くためのエンパワーメントを実践します。

連絡先情報

info@rei-npo.org

Refugee Empowerment International

三田ヒルサイドビル4階

〒108-0073

東京都港区三田4丁目1番9号

